

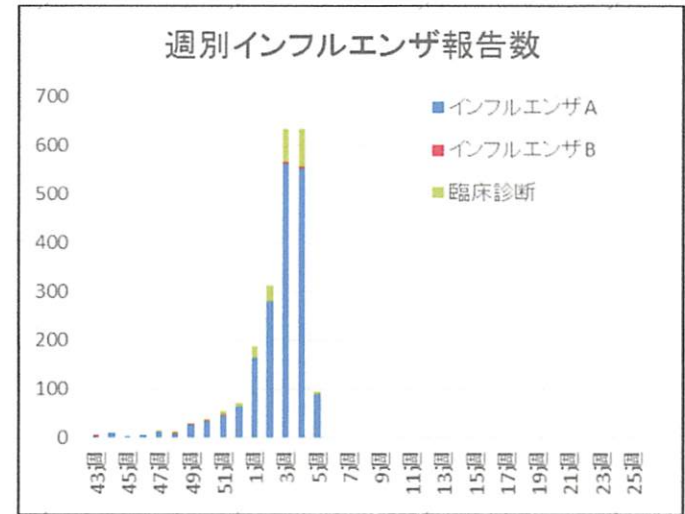
# 今シーズンのインフルエンザの状況

2017年1月30日

(1月30日までの報告です 1/23~1/29が第4週です)

	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	1週	2週	3週	4週	5週	合計
インフルエンザA	4	9	3	5	12	8	25	33	44	63	164	279	561	552	89	1851
インフルエンザB	1	0	0	0	1	3	1	2	4	0	0	0	4	3	1	20
臨床診断	0	0	0	0	1	1	0	2	5	7	23	33	68	78	4	222
総診断数	5	9	3	5	14	12	26	37	53	70	187	312	633	633	94	2093

(52週は2016.12.26~2017.1.1.までです。)



1月30日までに23の医療機関より2093例の報告がありました。A型が1851例で、B型が20例です。臨床診断例は、家族・職場・クラスなどでの感染でほぼA型です。第5週の1日目(30日)の報告数は94例でしたので、23日の136例よりはかなり減少しています。また、第4週の報告数は633例で第3週と同数となりピークに達したようです。しかし、教育委員会からの報告数は、1/30までの報告で、586例です。内訳は表の通りです。例年であれば1000~1700例の報告があり、罹患率は15~25%です。現在のところ、総社小や常盤小など大規模校での大きな流行がなく、小学生の出席停止者は少ないです。

	在籍数	出席停止	罹患率
中学校	1966	216	11.0%
小学校	3944	239	6.1%
幼稚園	922	100	10.8%
認定こども園	215	31	14.4%
合計	7047	586	8.3%

1月の岡山県のインフルエンザウイルス検出例9例はすべてAH3(香港型)です。市内で流行中のA型もAH3と推測され、6シーズン連続のAH3型の流行です。個人的な印象ですが、昨シーズンA型に罹患した人は、家族内でも感染しないか軽症の人が多いようです。しかし、昨シーズンのA型の流行は小さく、まだまだ罹患していない小児は多いので、流行がピークを越えたと安心しないで下さい。マスクの着用・手洗い・咳エチケットに努めるとともに、体調不良の場合は無理をせずゆっくり休んで下さい。

